

発言議員	議案件名	要旨	答弁者
1番 小野幸夫議員	1. SPコードの早期の普及について 2. 国の介護保険制度の見直しに対する羽生市の対応について 3. 発達障害児(者)に対する羽生市の対応について 4. 古い民家の保存について		① 市民福祉部長 " ② 教育次長 "

【12月14日】

発言議員	議案件名	要旨	答弁者
16番 丑久保恒行議員	1. 人づくりは国際感覚の育成から ① 中学生海外派遣の凍結解除を 2. 公共施設に対するの受益者負担の導入を ① 公民館・女性センター・市民プラザの利用状況について ② 公民館・女性センター・市民プラザの施設運営(収入・支出)について ③ 行田市・加須市の公共施設の有料化状況について ④ 公民館・女性センター・市民プラザの管理運営規程について		① 教育長 ② 企画財政部長
12番 森田常夫議員	1. 財政運営の基本的な考え方について 2. 小中学校でのムジナモの保護、増殖について 3. 誇りと自信と愛着を高める教育について		① 企画財政部長 ② 教育長 "
22番 岡戸稔議員	1. 公立保育所の見直しについて当局の考えを伺います。 ① 昨今の国の自治体に対する財政に対する援助は厳しいものが見込まれます。 ② 又、少子高齢化社会現象の中で羽生市における公立保育所の存在は見直す時である。 ③ 時代と共にスクラップアンドビルドが必要であると考えます。 ・現在の公立保育所の定数、入所者数は把握済み ・すべて民間に任す、あるいは統廃合により減らす		市民福祉部長
13番 峰須直巳議員	1. 平成17年度予算編成の見通し・考え方 ① 平成15年度に財政危機突破第1年度を宣言、平成16年度を第2年度として取り組んできたが、平成17年度予算編成にあたって、どのような考えで臨むのか。 ② 平成12年度から施行された地方分権一括法と、これに基く三位一体改革の名の下での地方財政圧迫は「地方つぶし」としか思えない。その影響は。 ③ 羽生市としての取り組み。自主自立都市再建プロジェクトの検討内容は、削減すべきものと羽生市の将来を見据え、増額すべき項目をしっかりと位置づけるべきと考える。 例えば、学校教育の分野等は削減対象として考えてほしくない(パソコンソフトや学校図書の充実など)。一方、補助金等については、現在の10%をもう少し高める事もやむを得ないし、年次計画や収支報告を再検討し、場合によっては大幅カットも、学校医報酬も見直し対象としてはどうか。臨時職員の時間給カットは最低でも元に戻すべきで、場合によっては(勤続の長い方)については希望により、非常勤職員化すべきでは。 2. 粗大ゴミ排出品の有効活用を 転居や家具の買い替え、部屋の模様替え等で、まだ使用できる家具やエレクトーンなどが、粗大ゴミとして排出されている。これらの品物を少し手を加えてでも、希望する市民の方々に無償または安価で譲渡する場を設け、ごみの減量は勿論、循環型社会への変換を促す取り組みとする。		① 市長 ② 経済環境部長